

JA さいたま自己改革取組宣言

JA さいたまは総合事業機能発揮により、組合員及び地域住民の生活を支え、農業と地域の未来に貢献していきます。

- 総合力を発揮した取り組みにより農業者の所得増大と農業生産の拡大をはかります。
- 総合事業を最大限発揮し、地域住民に貢献する活動を行います。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく「共助」の結合体ともいえる組織です。

JA は、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方でも、地域農業の発展や地域づくり、食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施していることからこそ、JA の経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業施設投資が可能になります。正組合員と准組合員が JA の総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の主な取り組みを紹介します。

- 1. 地域農業の振興に取り組めます。【指導事業支出予算額 2 億 16 百万円】**
営農相談体制を強化し、地域の特性を活かした提案をして参ります。
- 2. 販売体制の強化に取り組めます。【販売品取扱目標額 30 億 92 百万円】**
新たな販売先の開拓や、小売・量販店等との多様な契約方式をして参ります。
- 3. 生産コストの低減に取り組めます。【生産資材供給高目標額 12 億 17 百万円】**
直送方式や、中古農機の取り扱い等の生産トータルコストの低減をして参ります。